



公立小松大学同窓会

Komatsu University Alumni Association

ごあいさつ

100年先

私たちの公立小松大学は、100年、200年の後にもつづいてほしいと念願し、そのための礎・土壌づくりと思って、これまで献身してまいりました。私は今年73歳になりましたが、100年先というと、1期生の皆さんが私のような歳になった頃巣立つ後輩たちが、さらに齢を重ねてこのような歳になる、それくらい先のこととなります。大学とは、歴史に支えられ、地域・世界にひろがる、四次元的な存在です。同窓会は、そういうひろやかな存在としての大学を織りなす経系であり、緯系でもあります。ですから、私たちが大学に関わるのは、在学あるいは勤務している間だけではありません。目の黒いうちは誰しものが alumnus として母校あるいは勤務先につながっていますし、それは、たとえば、宮沢賢治と花巻農学校、ベンジャミン・フランクリンとペンシルバニア大学、トルストイ、レーニンとカザン大学のように、死せる後もつづきうるものです。同窓会は、大学にとって重要なステークホルダーの一つでもあります。同窓生各位には、ご健勝、弥栄と益々のご活躍を祈念いたしますとともに、公立小松大学の発展のため、末永いご理解とお力添えを賜りますようお願いし、あいさつとさせていただきます。

公立小松大学同窓会設立を^{ことほ}寿ぐ

同窓会 ^{いのちながら} 寿へ 会ふぞよし

同窓会 ^{よほひ} 寿わすれて 会ふもよし

同窓会 ^{ひさ} 寿しつながり 会はずとも



山本 博

公立小松大学 学長



中村 瑠人

2021年度国際文化交流学科卒業

同窓会長就任にあたって

公立小松大学同窓会会長に就任しました、中村瑠人と申します。

同窓会の発足に向け、これまで代表者10名で準備を進め、無事に「公立小松大学同窓会」が設立したことを大変喜ばしく思います。設立に向けて尽力いただいた皆様に、まずは御礼申し上げます。また、この度第1期会長という大任を務めることとなり、身の引き締まる思いです。

私たちは、公立小松大学の1期生として入学し、専門分野の学びはもちろん、地域活動への参加や国際交流など、大変内容の濃い4年間を過ごしました。また先輩がおらず、サークルの立ち上げなどにも携わるなど、一から何かを創り上げることが多かった学年だったかと思います。その経験は、きっと今社会人として働く私たちの糧となっているのではないのでしょうか。

私たちは、また一つ「公立小松大学同窓会設立」という新たなチャレンジを成し遂げ、これから長く続くであろう歴史の1ページを開くことができました。私は会長として、本会が、在学生・大学・卒業生をつなぐ架け橋となり、大学と共に発展し、誇れる母校に貢献することを目指して、同窓会の運営に尽力できればと考えております。

最後になりますが、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたしますとともに、今後の同窓会運営に、皆様方の力強いご指導、ご協力をお願い致しまして、会長就任にあたっての挨拶に代えさせていただきます。

公立小松大学同窓会が発足しました。

設立日：2022年9月3日（土）

設立総会 開催報告

9月3日（土）に中央キャンパスで公立小松大学同窓会設立総会を開催。来賓として山本博学長と千葉正事務局長をお招きし、正会員8名が出席しました（1名はオンライン参加）。設立総会では、同窓会会則、役員を選出、令和4年度事業計画・予算の4つの議案について審議を行い、いずれも満場一致で可決・承認され、正式に「公立小松大学同窓会」が発足する運びとなりました。

会長に選出された第1期卒業生の中村瑠人さんは「0からのスタートですが、大学で培ったチャレンジ精神で、皆さんと共に魅力あふれる同窓会を創り上げていきましょう」と挨拶され、同窓会発足にあたっての意気込みを述べられました。

出席された皆様をはじめ、同窓会設立に向けて尽力いただいた設立準備会のメンバーの皆様、さらには、すべての同窓会会員のご協力に感謝いたします。



役員

会長	中村 瑠人	国際 期生
副会長	稲葉 悠斗	臨床 期生
	喜多岡 里彩	国際 期生
会計	中田 涼輔	生産 期生
監事	阿部羅 大稀	生産 期生
	山内 あみ	看護 期生
幹事	山田 奈々	生産 期生
	鈴木 結女	看護 期生
	加賀 圭	臨床 期生
	高田 純那	国際 期生

▶司会を務めた副会長の喜多岡里彩さん



同窓会加入のお願い

本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展を期することを目的に設立し、その趣旨に賛同いただき、多くの卒業生の皆様に同窓会費（終身会費1万円）を納入いただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。

皆様から納入いただいた会費は、同窓会活動費（会報の発行、総会の開催など）のほか、公

立小松大学発展のための援助金（大学基金への寄附、大学祭協力費など）として役立ててまいります。また、会費を納入いただいた正会員の皆様には同窓会報や総会の案内等を定期的に送付させていただきます。

未加入の皆様につきましては、何卒趣旨をご理解いただき、本会への加入および会費の納入にご協力をお願い申し上げます（納入方法については対象の方に納付書を同封しております）。

公立小松大学同窓会会則

第1章 総則

(名称)
第1条 本会は、公立大学法人公立小松大学同窓会と称する。

(目的)
第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事業)
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿及び会報の発行
- (2) 総会の開催
- (3) その他、本会の目的達成に必要な事業

第2章 会員及び役員

(会員)
第4条 本会の会員は、正会員、準会員、特別会員の3種とする。

(1) 正会員
公立小松大学の卒業生、公立小松大学大学院の修了生

(2) 準会員
公立小松大学、公立小松大学大学院に在籍する学生

(3) 特別会員
公立小松大学の役員、職員、ならびにこれらの職にあった者

(役員)
第5条 本会に次の役員を置く

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 会計 若干名
- (4) 監事 2名
- (5) 幹事 各学科ごとに若干名

2 会長、副会長、会計、監事は、幹事の中から総会において選出する。

3 本会には、総会の議を経て、顧問を置くことができる。

(役員任期)
第6条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

第3章 会務及び会議

(役員職務)
第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。ただし、会長に事故あるときは、副会長が職務を代理する。

第8条 副会長は、会長を補佐する。

第9条 会計は本会の会計を担当する。

第10条 監事は、会計を監査する。

第11条 幹事は、本会の運営を円滑にするため、運営業務を担当する。

(会議)
第12条 本会の会議は、総会及び役員会とし、会長が招集して、その議長となる。

(役員会)
第13条 役員会は会長が必要と認められた時、会長がこれを招集する。

2 役員会の議事は出席役員数の過半数をもって決する。

3 役員会は次の各号を審議する。
(1) 総会において役員会に委託された事項
(2) 事業報告、事業計画、予算、決算その他の総会に提出すべき事項
(3) 会則の改正、その他必要と認められた事項
(総会)

第14条 本会は、毎年1回総会を開く。ただし必要に応じ臨時総会を開くことができる。

2 総会の議事は出席正会員の過半数をもって決する。

3 総会は、次の各号を審議する。
(1) 事業報告及び事業計画
(2) 予算、決算に関する事項
(3) 会則の改正に関する事項
(4) 役員選出に関する事項
(5) その他必要と認められた事項

第4章 会計

(会計)
第15条 本会経費は、会員の会費及びその他収入をもって充てる。

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり毎年3月31日に終わるものとする。

(会費)
第17条 会費は終身会費とし、10,000円を入学手続き時に一括納入する。

第5章 支部

(支部)
第18条 本会会員多数在住の地には支部を設置することができる。

第6章 事務局

(事務局)
第19条 本会の事務局は、小松市土居原町10-10 公立小松大学中央キャンパス内に置く。

附則

1 この会則は令和4年9月3日から施行する。

令和4年度事業計画

1. 会議

- (1) 総会 1回
- (2) 役員会 1回以上

2. 修学支援

- (1) 大学基金への寄附
 - ・ 公立小松大学基金への寄附
(奨学金給付の原資に充当)

3. 行事協力

- (1) 大学祭協力
 - ・ 青松祭実行委員会への補助
- (2) 入学式・卒業式
 - ・ 会長が来賓として出席
- (3) 大学記念事業協力積立
 - ・ 大学記念(周年)事業協力のために
資金積み立て

4. 広報活動

- (1) 会報第1号の発行(総会報告掲載)
- (2) 大学広報誌「Tachyon」を通じての
同窓会の紹介
- (3) 大学のホームページによる活動報告

5. その他

- (1) 会員名簿の更新
- (2) 会員等の逝去に対する弔慰金

令和4年度予算

(単位：円)

収入の部	科目	予算額	摘要
会費	会費	5,560,000	会員の加入見込み数：556人
その他収入	預金利子	10	普通預金利子
合計		5,560,010	

支出の部	科目	予算額	摘要	
修学支援・福利厚生費	大学基金への寄附	50,000		
行事協力費	大学祭協力費	50,000		
	記念事業協力積立金	100,000		
	小計	150,000		
運営費	通信運搬費	100,000	総会通知等郵送料等	
	会議費	100,000	役員会、総会費用	
	印刷製本費	100,000	諸通知、総会資料、会報等	
	消耗品費	20,000	事務用品等	
	業務委託料	100,000	ホームページ開設・運用費用	
	弔慰費	20,000	会員逝去の香典等	
	人件費	20,000	事務アルバイト費用	
	支払手数料等	5,000	振込手数料等	
		小計	465,000	
	運営積立金(予備費)	運営積立金(予備費)	4,895,010	
合計		5,560,010		

大学行事予定

10/22 土 10:00 ~ 17:00

大学祭「青松祭」

場所 中央キャンパス
こまつ芸術劇場うらら

eスポーツ、おげげやしき、模擬店、サークル発表など在校生はもちろん、地域の方々にも楽しんでもらえるイベントが盛りだくさんです。



11/19 土 14:30 ~ 16:30
市民公開
フォーラム

場所 サイエンスヒルズこまつ

「地域連携によりサステイナビリティを世界に発信」をテーマに、講演会等を開催します。

12/10 土 13:30 ~ 16:30
シーズ・ニーズ
マッチング
シンポジウム

場所 中央キャンパス

大学の研究シーズを広く発信するシンポジウムを全学部合同で実施します。

住所変更等のご連絡のお願い

同窓会事務局では、同窓会会員の名簿の整理を行っています。住所等が変更になった場合は、同窓会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会および大学情報のご案内以外の目的では使用いたしません。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

住所変更届はこちらから→

